

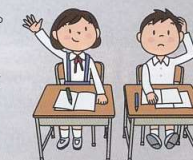
子どもを中心にすえた カリキュラム編成



- 平和・人権・環境・共生の視点をふまえたカリキュラムづくりを！
- 地域と連携し、労働教育の視点を取り入れた普通職業教育の確立を！



- 学習指導要領が大綱的基準であることをふまえ弾力化をすすめること。
- 子どものゆたかな学びを保障し、各学校のカリキュラムづくりに資する条件整備をすすめること。
- 「主権者」教育を各学校段階のカリキュラムに位置づけ、様々な活動や体験を通して学ぶ機会を保障すること。
- 労働教育の視点を各学校段階のカリキュラムに位置づけ、労働教育に関する教職員の研修の機会を保障すること。



子どもを中心にすえた
カリキュラム編成

子ども・学校現場の実態に応じたカリキュラム編成が必要!!

授業時数の増加 - 学校5日制前の授業時数に -



2018年度から「特別の教科 道徳」がはじまります。
2020年度から、小学校・高学年で外国語の教科化(週2時間)、中学年で外国語活動(週1時間)がはじまります。

授業時数が増えたと…6年生の時間割の例

	月	火	水	木	金
8:30~8:40	朝の活動(読書、漢字、音楽、ドリル)				
8:40~8:50	朝の会(健康観察)				
8:50~9:35	算数	書写	図工	国語	体育
9:35~9:40	休み時間				
9:40~10:25	国語	算数	図工	算数	理科
10:25~10:45	業間休み				
10:45~11:30	道徳	国語	国語	理科	学活
11:30~11:35	休み時間				
11:35~12:20	社会	体育	算数	理科	算数
12:20~13:05	給食				
13:05~13:35	昼休み				
13:35~13:55	掃除				
13:55~14:10	ドリルタイム				
14:10~14:55	家庭	音楽	社会	総合	社会
14:55~15:00	休み時間				
15:00~15:45	音楽	外国語	外国語	総合	クラブ
15:45~15:55	帰りの会				
					委員会

朝の活動や昼のドリルタイムなど、短い時間を使っての学習(活動)が、定着しています。

週2時間の英語授業をすると

子どもはますます忙しくなります。

5時間目の前にも学習活動

子どもにはのびのびと学校生活を送ってほしいのに…

1コマ増

私たちがめざす学校の姿

子どもの意見が反映された学校

- 子どものことは子どもに聞く。子どものことは子どもが一番よく知っています。子どもどうしの関係性や課題もお互いわかっています。
- 子どもは「主権者」です。権利を保障された子どもたちは、他の人の権利を尊重することを体験的に学びます。
- もの見方・考え方は一つでなく、様々です。「みんなと違う意見大歓迎!」といったクラスの雰囲気が大切です。

子どもの「今ある姿」から創るゆたかな学び

- 子どもの行動には必ず理由があります。「あるべき姿」ではなく「今ある姿」から一人ひとりにあった学びを組み立てていくことが大切です。
- 「ねえねえ、ここ教えて」「そうか、わかった!」「なるほどね!」の子どもの声や、ゆたかな学びにつながります。学ぶことが楽しく、生活や社会との結びつきを感じられることが重要です。

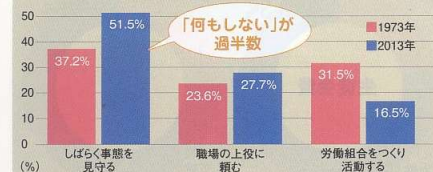
地域とむすぶ、子どもを中心としたカリキュラム

- 「学校の特色」は、子どもたちがつくるものです。「こんなことをやってみよう!」「もっとこれをじっくり学びたい」「自由な時間にもっとこんな経験がしたい」「将来はこれを実現させたい」「自分の住む地域をこんなふうにしたい」などの子どもの気持ちや声を尊重することが大切です。

【日教組カリキュラム提言—ゆたかな学びの創造—】(2017)より作成

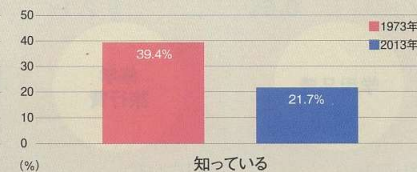
おとな社会の課題 ~今なぜ労働教育か

Q あなたが勤める会社で、社員(あなたも含む)から給料や働く時間などの労働条件に強い不満が出ました。どうしますか?



学校・地域・生活で学ぶこと
⇒助け合うことの大切さ ⇒協力・協働で課題を解決していくこと

Q 日本国憲法で保障された国民の権利として、「労働組合をつくる権利(団結権)」があることを知っていますか?



学校などで学ぶこと
⇒憲法にある国民の権利

NHK放送文化研究所「第9回「日本人の意識」調査」(2013)より